

令和7年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果概要

江別市立小・中学校における調査結果

I	調査の概要	1 ~ 2
II	体格と肥満度に関する調査の結果	
1	小学校	3
2	中学校	4
III	実技検査の結果	
1	小学校	5 ~ 6
2	中学校	7 ~ 8
IV	児童・生徒質問紙調査の結果	
1	小学校	9 ~ 11
2	中学校	12 ~ 14
V	学校質問紙調査の結果	15 ~ 18



令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

3 調査の内容

①児童・生徒に対する調査

ア、実技に関する調査（測定方法等は新体力テストの方法による。）

〔小学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走／20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
（持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）

イ、質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

②学校に対する質問紙調査

ア、子どもの体力・運動能力等の向上に関する取組の調査

イ、実施状況に関する調査

4 調査期間

令和7年4月から令和7年7月末までの期間で実施

5 参加状況（公立学校）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
全国（R7）	18,438校	913,144人	9,430校	816,548人
北海道（札幌市を含む）	935校	34,809人	576校	32,922人
江別市	17校	922人	8校	846人

6 用語解説

体カテスト種目	単位	体カ要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤ 20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
持久走（中学校選択）	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ ソフトボール投げ（小学校）	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
ハンドボール投げ（中学校）	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離
体カ合計点	点	8種目の体カテスト成績を1点から10点に得点化して総和した体カテスト合計得点	
総合評価	5段階	8種目の体カテストの合計得点の良い方から、ABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。「平均値=調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。 「標準偏差=分散の平方根、分散=偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和=偏差の平方の総和、偏差=調査結果-平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

* 公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

* 国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

<標準体重と肥満度判定> 「児童・生徒の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より
平成27年8月25日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9（小4）	0.687	61.390	0.652	56.992
10（小5）	0.752	70.461	0.730	68.091
11（小6）	0.782	75.106	0.803	78.846
12（中1）	0.783	75.642	0.796	76.934
13（中2）	0.815	81.348	0.655	54.234
14（中3）	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

肥満度	判定
20%以上	肥満
19.9～-19.9%	普通
-20%以下	痩身

※平成18年度以降、算出・判定方法は変更していない。

Ⅱ-1 体格と肥満度に関する調査の結果(小学校)

＜小学校＞

○体格について、男子の「身長」は全国平均とほぼ同程度で、「体重」は全国平均をやや上回っている。女子の「身長」「体重」ともほぼ同程度である。本市昨年度の実測値との比較では、男子の「身長」は-0.30cmで、「体重」は-0.80kgである。女子の「身長」は-0.36cmで、「体重」は+0.08kgである。

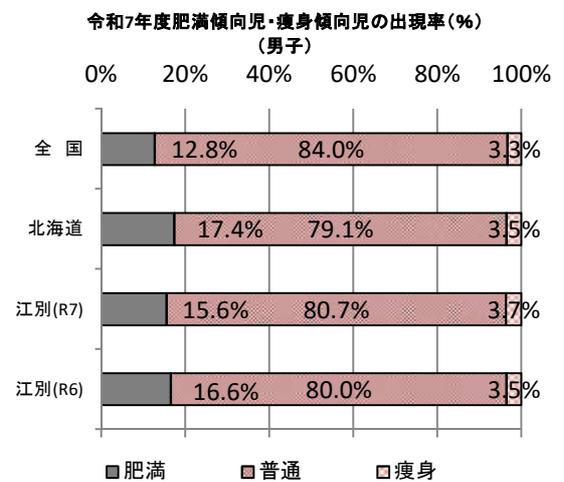
○肥満痩身傾向について、男子の肥満は全国平均を2.8ポイント上回り、痩身は全国平均を0.4ポイント上回っている。女子の肥満は全国平均を1.1ポイント上回り、痩身は全国平均を0.5ポイント下回っている。

○運動量が減少すると肥満傾向につながるため、学校・家庭では「日常の運動の奨励」を継続するとともに、痩身も含め「食育の指導」を通して健康に過ごせる体づくりとその意義の理解について取り組む必要がある。

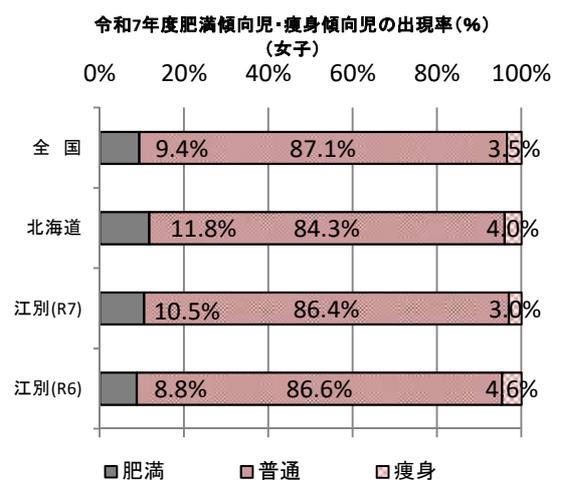
※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校男子		全国	北海道	R7江別	T得点	R6江別	T得点
身長(cm)		139.53	140.10	140.13	50.9	140.43	51.4
体重(kg)		35.01	36.36	35.89	51.1	36.69	51.9
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	12.8%	17.4%	15.6%		16.6%	
	普通	84.0%	79.1%	80.7%		80.0%	
	痩身	3.3%	3.5%	3.7%		3.5%	



小学校女子		全国	北海道	R7江別	T得点	R6江別	T得点
身長(cm)		140.81	141.48	140.90	50.1	141.26	50.4
体重(kg)		34.70	35.53	35.09	50.5	35.01	50.1
肥満・痩身 傾向児の 出現率(%)	肥満	9.4%	11.8%	10.5%		8.8%	
	普通	87.1%	84.3%	86.4%		86.6%	
	痩身	3.5%	4.0%	3.0%		4.6%	



Ⅱ-2 体格と肥満度に関する調査の結果(中学校)

＜中学校＞

○体格について、男子の「身長」は全国平均とほぼ同程度で、「体重」は全国平均をやや上回っている。女子の「身長」「体重」とも全国平均とほぼ同程度である。本市昨年度の実測値との比較では、男子の「身長」は-0.27cmで、「体重」は+0.35kgである。女子の「身長」は-0.41cmで、「体重」は+0.16kgである。

○肥満痩身傾向について、男子の肥満は全国平均を1.9ポイント上回り、痩身傾向は全国平均を0.6ポイント下回っている。女子の肥満は全国平均を2.5ポイント下回り、痩身は2.2ポイント上回っている。

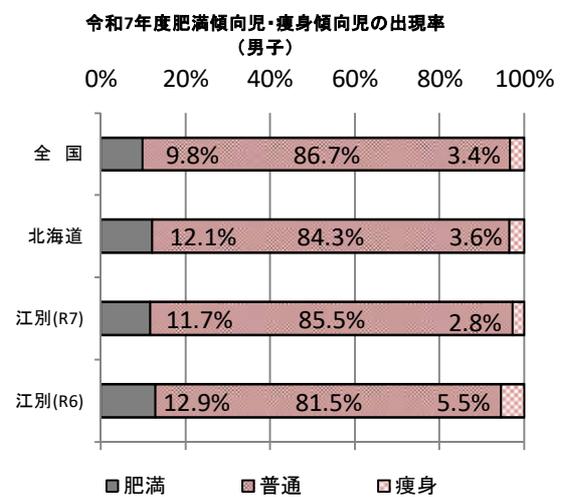
○運動量が減少すると肥満傾向につながるため、小学校と同様に、学校・家庭では「日常の運動の奨励」を継続するとともに、痩身傾向も含め「食育の指導」を通して健康に過ごせる体づくりとその意義の理解について取り組む必要がある。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均が50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

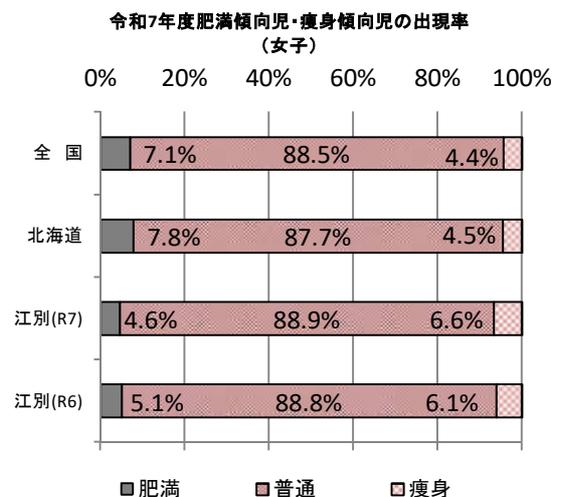
①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度

④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校男子		全国	北海道	R7江別	T得点	R6江別	T得点
身長(cm)		161.31	162.45	161.75	50.6	162.02	51.0
体重(kg)		50.11	51.69	51.32	51.2	50.97	50.9
肥満・痩身傾向児の出現率(%)	肥満	9.8%	12.1%	11.7%	/	12.9%	/
	普通	86.7%	84.3%	85.5%	/	81.5%	/
	痩身	3.4%	3.6%	2.8%	/	5.5%	/



中学校女子		全国	北海道	R7江別	T得点	R6江別	T得点
身長(cm)		155.06	155.48	155.53	50.9	155.94	51.7
体重(kg)		46.88	47.28	46.53	49.5	46.37	49.5
肥満・痩身傾向児の出現率(%)	肥満	7.1%	7.8%	4.6%	/	5.1%	/
	普通	88.5%	87.7%	88.9%	/	88.8%	/
	痩身	4.4%	4.5%	6.6%	/	6.1%	/



Ⅲ－１ 実技検査の結果(小学校男子)

〈小学校男子〉

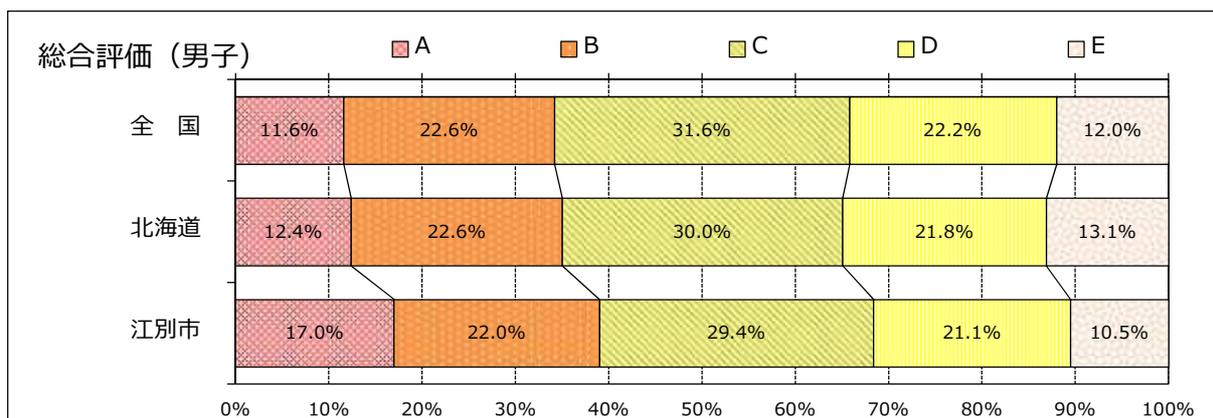
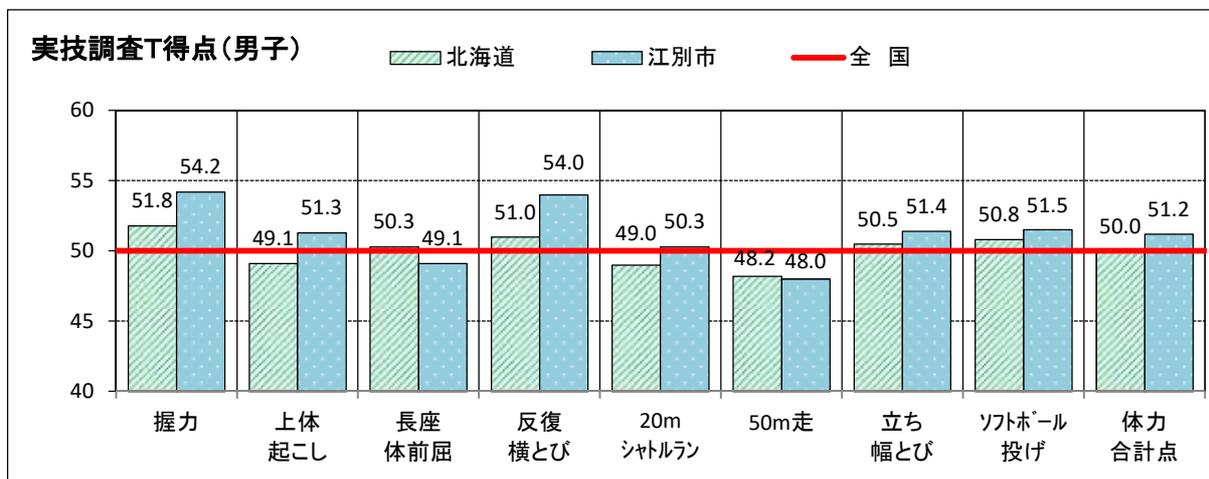
○体力合計点(点)は54.23点で昨年を0.09ポイント下回った。また、Tポイントは51.2で全国平均を上回ったものの昨年を0.7ポイント下回った。種目別では「握力」「反復横とび」は全国平均を上回り、「上体起こし」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」がやや上回り、「長座体前屈」「20mシャトルラン」はほぼ同程度であるが、「50m走」は全国平均をやや下回っている。

○「50m走」が全国平均をやや下回っており、「20mシャトルラン」がほぼ同程度であることから、疾走能力や全身持久力を上げる取組を推進する必要がある。さらに、体の柔らかさを示す「長座体前屈」は全国平均とほぼ同程度であるが下回っており、これまでの経緯を踏まえ柔軟性を身に付ける取組も推進していかねばならない。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校 男子	全国	北海道	R7江別市	T得点	R6江別市	T得点
握力(kg)	15.96	16.68	17.59	54.2	17.47	53.8
上体起こし(回)	19.46	18.90	20.25	51.3	20.17	51.6
長座体前屈(cm)	33.88	34.13	33.06	49.1	34.95	51.3
反復横とび(点)	40.89	41.71	44.31	54.0	43.51	53.5
20mシャトルラン(回)	47.94	45.85	48.61	50.3	46.73	49.9
50m走(秒)	9.46	9.66	9.69	48.0	9.74	47.9
立ち幅とび(cm)	150.93	152.08	154.49	51.4	156.37	52.5
ソフトボール投げ(m)	21.06	21.72	22.31	51.5	22.54	52.2
体力合計点(点)	53.02	53.00	54.23	51.2	54.32	51.9
総合評価(%)	A	11.6%	12.4%	17.0%		15.3%
	B	22.6%	22.6%	22.0%		26.9%
	C	31.6%	30.0%	29.4%		27.3%
	D	22.2%	21.8%	21.1%		19.5%
	E	12.0%	13.1%	10.5%		11.0%



Ⅲ－１ 実技検査の結果(小学校女子)

＜小学校女子＞

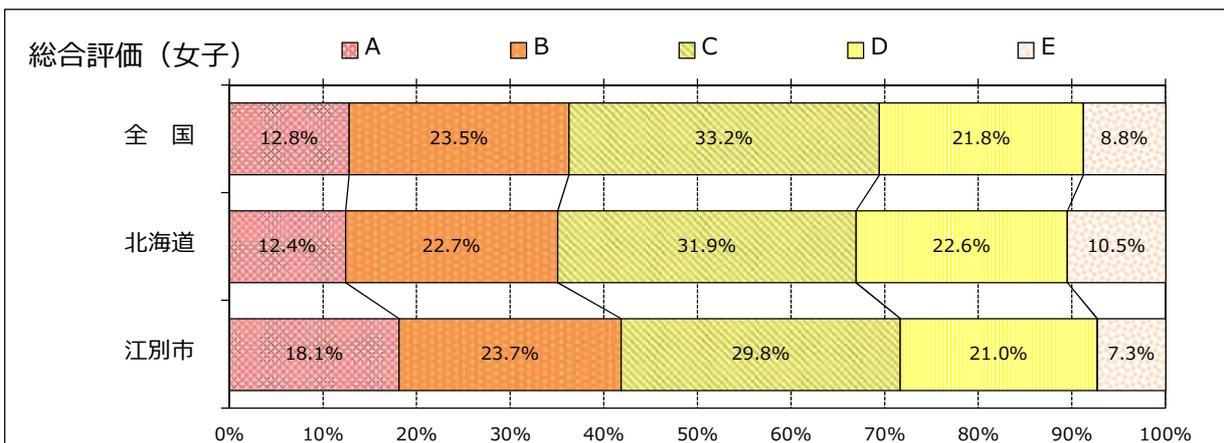
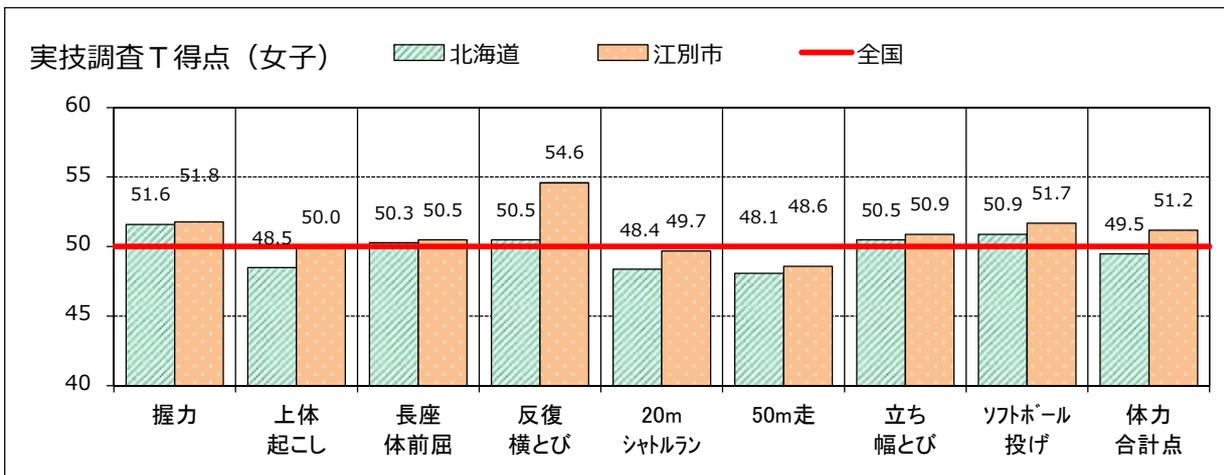
○体力合計点(点)は55.06点で昨年を0.31点上回った。また、Tポイントは昨年より0.3ポイント上回る51.2で、全国平均を上回っている。種目別では「反復横とび」は全国平均を上回り、「握力」「ソフトボール投げ」はやや上回り、「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」はほぼ同程度であるが、「50m走」は全国平均をやや下回っている。

○「50m走」が全国平均をやや下回っており、「20mシャトルラン」がほぼ同程度であることから、疾走能力や全身持久力の改善に向けた取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」は全国平均とほぼ同程度であるが、これまでの経緯を踏まえ柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

小学校女子	全国	北海道	R7江別市	T得点	R6江別市	T得点	
握力(kg)	15.61	16.24	16.31	51.8	16.90	52.9	
上体起こし(回)	18.36	17.54	18.36	50.0	17.79	49.3	
長座体前屈(cm)	38.15	38.38	38.63	50.5	38.71	50.6	
反復横とび(点)	38.70	39.11	42.23	54.6	41.53	53.8	
20mシャトルラン(回)	36.85	34.35	36.33	49.7	35.24	49.2	
50m走(秒)	9.77	9.96	9.91	48.6	9.94	48.3	
立ち幅とび(cm)	142.34	143.65	144.43	50.9	147.32	51.9	
ソフトボール投げ(m)	13.11	13.56	13.92	51.7	12.95	49.6	
体力合計点(点)	53.97	53.55	55.06	51.2	54.75	50.9	
総合評価(%)	A	12.8%	12.4%	18.1%		14.5%	
	B	23.5%	22.7%	23.7%		25.1%	
	C	33.2%	31.9%	29.8%		31.7%	
	D	21.8%	22.6%	21.0%		21.7%	
	E	8.8%	10.5%	7.3%		7.0%	

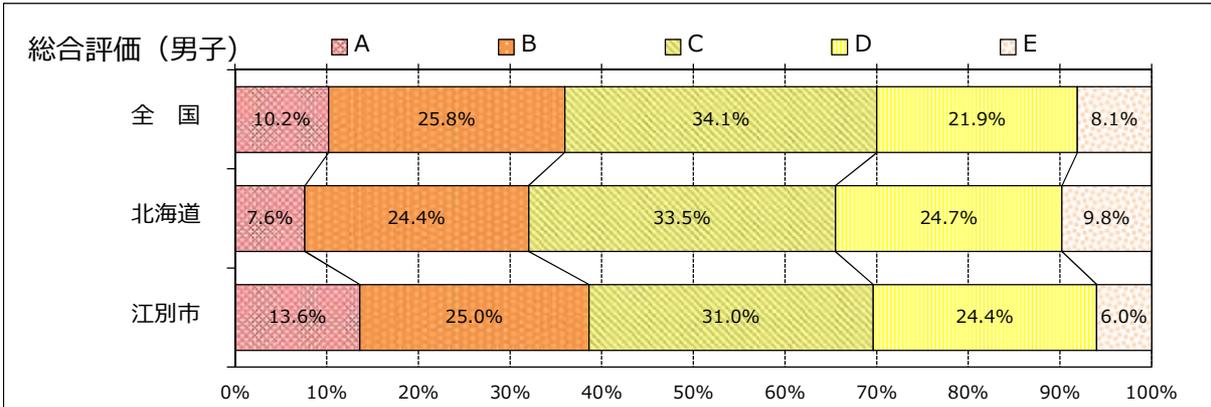
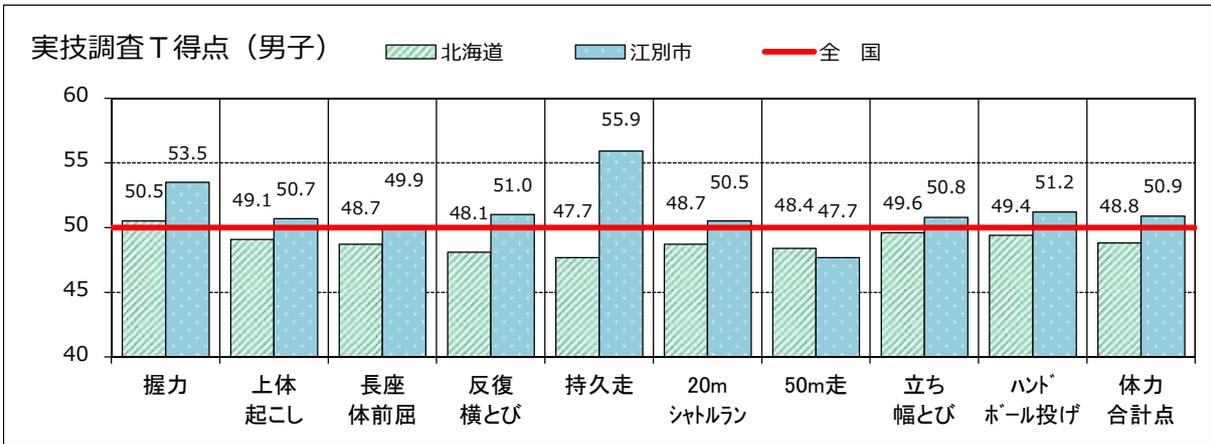


Ⅲ-2 実技検査の結果(中学校男子)

〈中学校男子〉
 ○体力合計点(点)は43.18点で昨年を1.63点上回った。また、Tポイントは50.9で昨年より1.2ポイント上回る50.9で、全国平均を上回っている。種目別では「握力」「持久走」は全国平均を上回り、「ハンドボール投げ」はやや上回り、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」はほぼ同程度であるが、「50m走」は下回っている。
 ○「50m走」が全国平均を下回っていることから疾走能力や全身持久力を上げる取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」は、全国平均とほぼ同程度であるが下回っていることから、柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国の前平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。
 ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
 ④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校男子	全国	北海道	R7江別市	T得点	R6江別市	T得点
握力(kg)	28.95	29.32	31.51	53.5	30.35	51.9
上体起こし(回)	26.09	25.54	26.54	50.7	26.04	50.2
長座体前屈(cm)	45.12	43.64	44.99	49.9	41.53	47.4
反復横とび(点)	51.64	49.85	52.56	51.0	51.37	49.9
持久走(秒)	409.25	426.13	366.64	55.9	422.17	48.4
20mシャトルラン(回)	78.82	75.47	80.08	50.5	81.35	50.9
50m走(秒)	8.00	8.15	8.21	47.7	8.16	48.2
立ち幅とび(cm)	197.51	196.24	200.22	50.8	199.19	50.6
ハンドボール投げ(m)	20.74	20.38	21.50	51.2	20.88	50.5
体力合計点(点)	42.20	40.88	43.18	50.9	41.55	49.7
総合評価(%)	A	10.2%	7.6%	13.6%		9.2%
	B	25.8%	24.4%	25.0%		23.4%
	C	34.1%	33.5%	31.0%		32.9%
	D	21.9%	24.7%	24.4%		24.3%
	E	8.1%	9.8%	6.0%		10.1%



Ⅲ－２ 実技検査の結果(中学校女子)

〈中学校女子〉

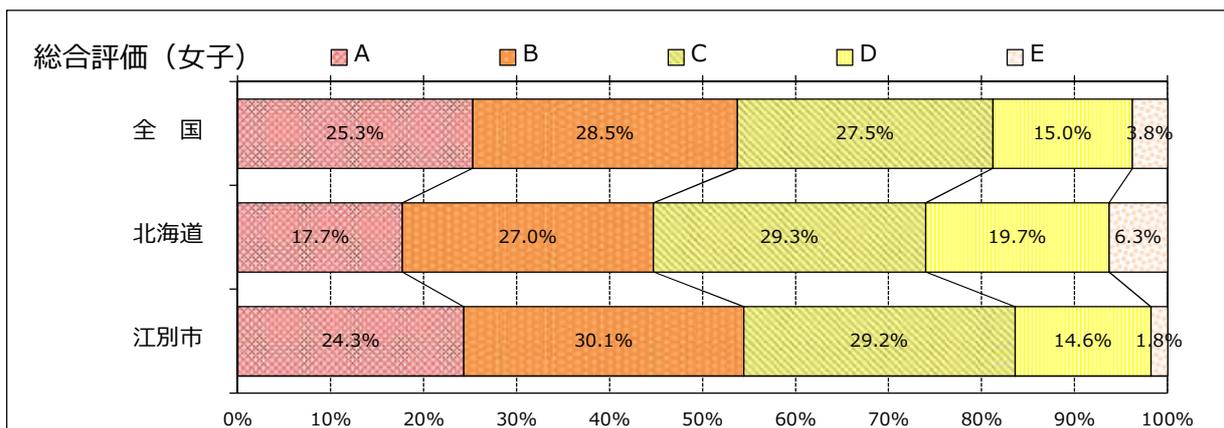
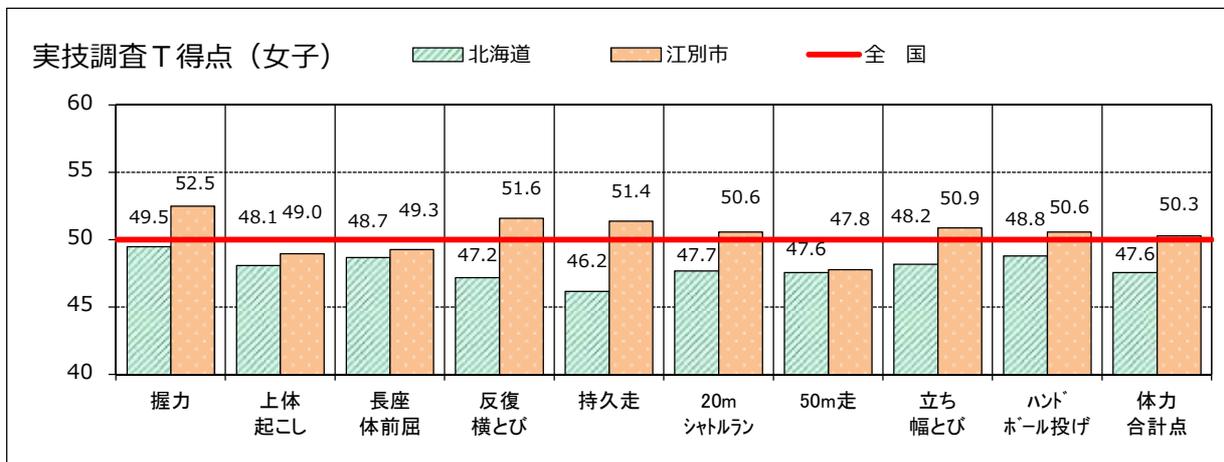
○体力合計点(点)は47.95点で昨年を1.60点上回った。また、Tポイントは昨年より1.2ポイント上回る50.3で、全国平均を上回っている。種目別では「握力」は全国平均を上回り、「反復横とび」「持久走」はやや上回り、「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」は全国平均とほぼ同程度である。「50m走」は全国平均を下回っている。

○「50m走」が全国平均を下回っており、疾走能力を上げる取組を推進する必要がある。また、体の柔らかさを示す「長座体前屈」は、全国平均とほぼ同程度であるが下回っていることから、柔軟性を身に付ける取組も推進していかなければならない。

※全国の平均値に対する相対的な位置(T得点:全国平均を50.0)と本市との差を、次の通り表記しています。

- ①2点を超えて高い……上回っている ②1点超～2点……やや上回っている ③+1点以内……ほぼ同程度
④-1点超～-2点……やや下回っている ⑤-2点を超えて低い……下回っている

中学校女子	全国	北海道	R7江別市	T得点	R6江別市	T得点	
握力(kg)	23.15	22.89	24.34	52.5	24.23	52.2	
上体起こし(回)	21.70	20.53	21.09	49.0	21.19	49.4	
長座体前屈(cm)	46.99	45.54	46.24	49.3	44.79	48.5	
反復横とび(点)	45.74	43.55	47.00	51.6	44.91	49.1	
持久走(秒)	309.66	329.29	302.33	51.4	308.37	50.1	
20mシャトルラン(回)	50.60	46.10	51.78	50.6	51.96	50.7	
50m走(秒)	8.97	9.19	9.17	47.8	9.07	48.8	
立ち幅とび(cm)	166.44	161.40	168.92	50.9	167.85	50.5	
ハンドボール投げ(m)	12.43	11.92	12.69	50.6	12.72	50.7	
体力合計点(点)	47.58	44.70	47.95	50.3	46.35	49.1	
総合評価(%)	A	25.3%	17.7%	24.3%		23.2%	
	B	28.5%	27.0%	30.1%		26.3%	
	C	27.5%	29.3%	29.2%		26.9%	
	D	15.0%	19.7%	14.6%		18.0%	
	E	3.8%	6.3%	1.8%		5.5%	



IV-1 児童質問紙調査の結果(小学校)

<運動習慣の状況>

○運動が「好き」・「やや好き」と回答した児童の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度であるが女子はやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともやや下回っている。

○運動やスポーツをすることに興味や関心が「ある」「ややある」と回答した児童の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度であるが、女子はやや上回っている。

○体育の授業以外での1週間の総運動時間は全国平均を上回り、男子は133時間、女子は124時間を超えている。

○「中学校で自主的に運動したい」と思う肯定的回答は、男女ともに全国平均をやや上回っているが、本市昨年度の調査結果と比較して男女ともやや下回っている。学校は家庭とも連携し運動への意欲付けや運動機会を積極的に設定するとともに、体育授業や学校行事などを含めた学校教育活動を通じて体を動かすことの楽しさを強く実感させていくことが大切である。

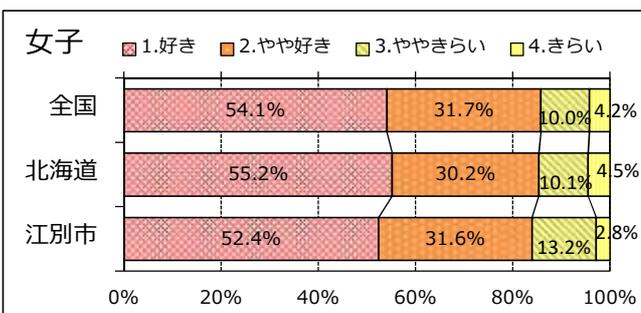
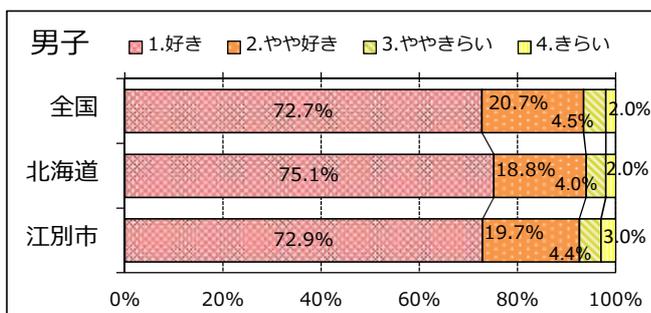
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の平均値、質問の割合に対し、

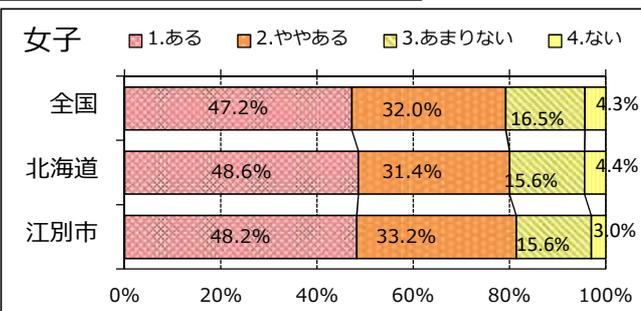
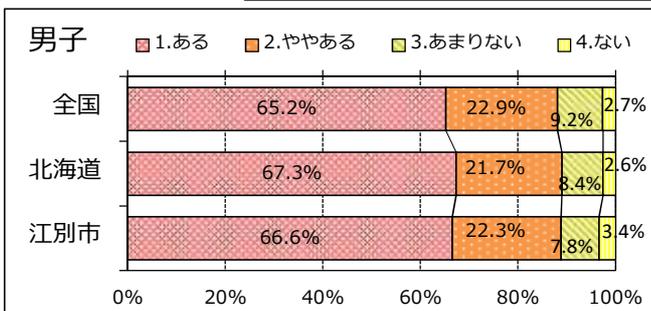
① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度

④ -1ポイント超～-5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

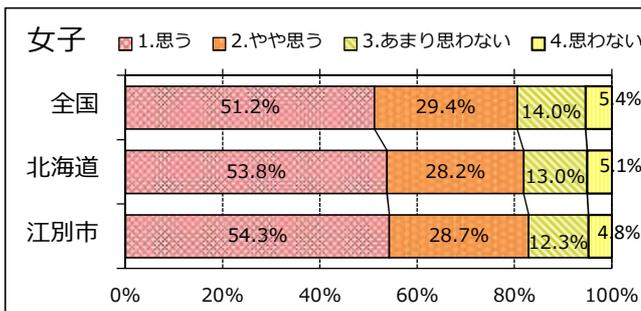
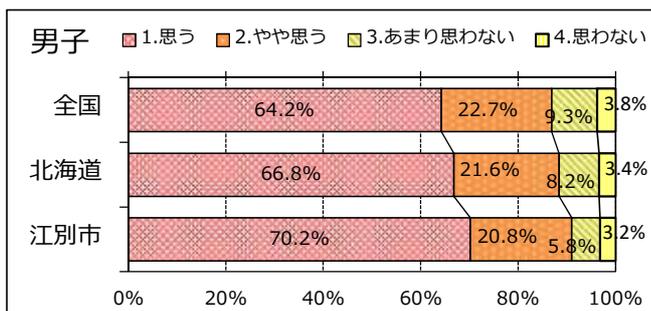
運動が好きですか



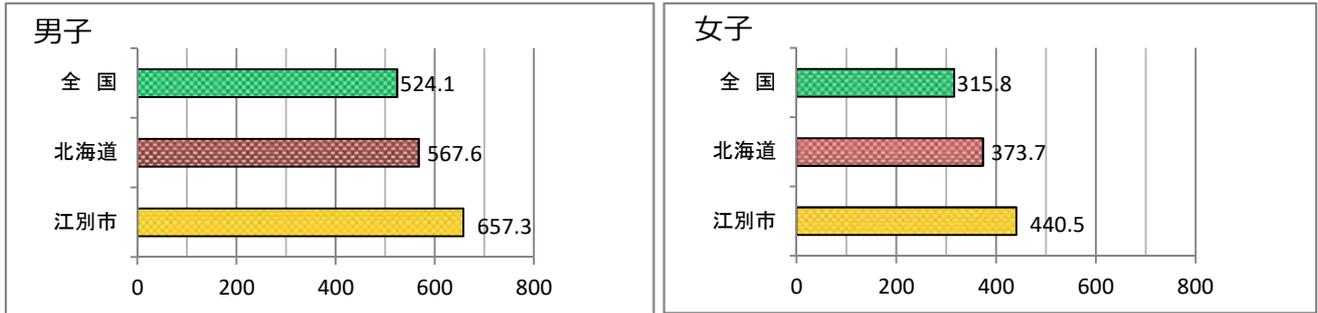
運動やスポーツをすることに興味・関心がありますか



中学校で自主的に運動したいですか



体育の授業以外の1週間の総運動時間(北海道の記録には札幌市を含まない)



<体育の授業>

○体育の授業が「楽しい」・「やや楽しい」と回答した児童の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度であるが女子は全国平均をやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子は-0.4ポイントで同程度ではあるが下回っており、女子は-4.1ポイント下回っている。

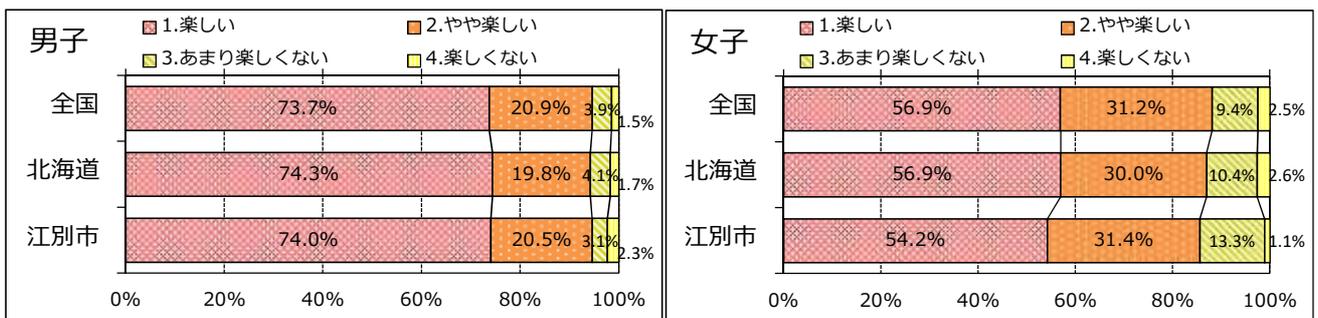
○体育の授業について、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で、『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した児童の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度であるが、女子はやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともにやや上回っている。

○体育の授業について、ICTを使った学習で『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した児童の割合は、男子は全国平均を上回り、女子はやや上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子は上回り、女子はほぼ同程度である。

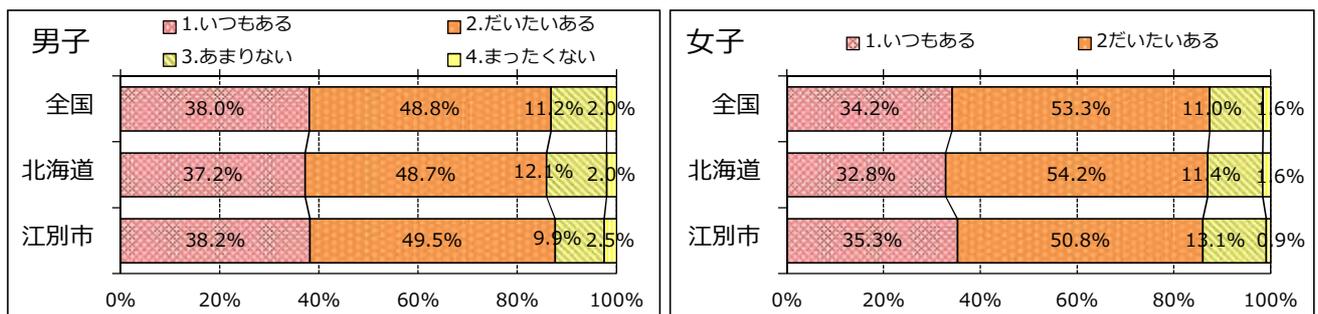
○体力・運動能力向上の目標を立てているかについて、男子は全国平均とほぼ同程度で、女子はやや上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はほぼ同程度で、女子はやや上回っている。

○今後も目的やねらい、振り返りを明確にした子どもが「楽しい」と感じられる授業となるよう授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

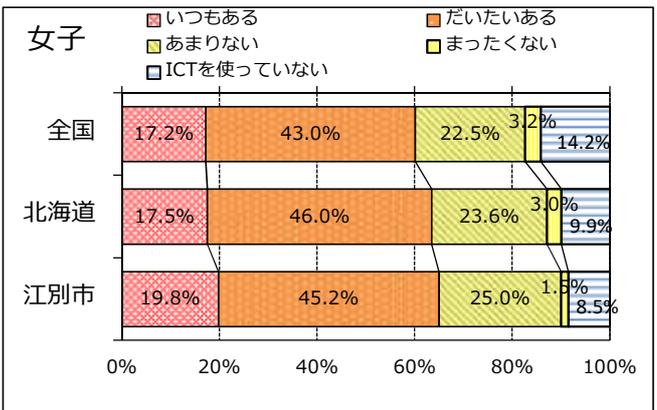
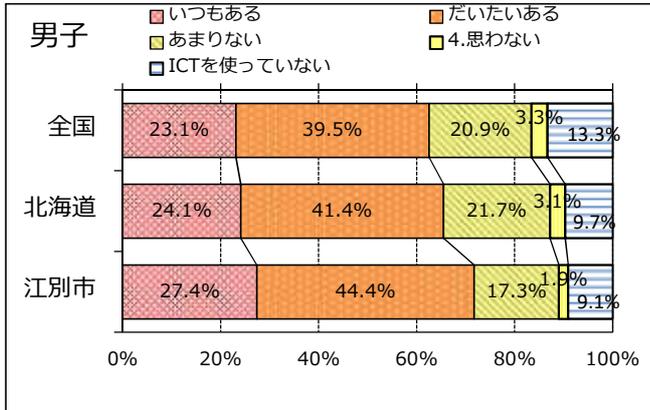
体育の授業は楽しいですか



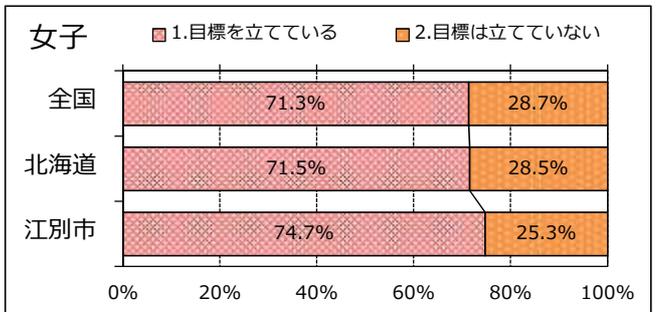
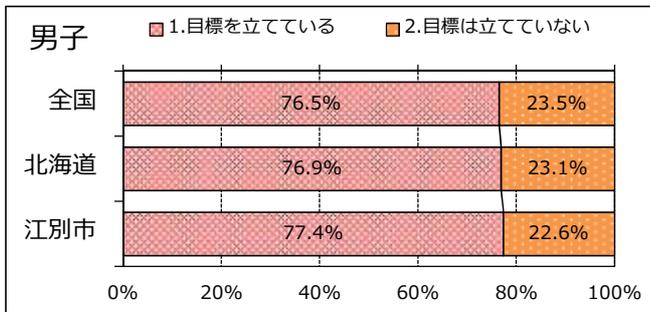
体育の授業で、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがあるか



体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」することがあるか



体力・運動能力向上の目標を立てているか



IV-2 生徒質問紙調査の結果(中学校)

<運動習慣の状況>

○運動が「好き」「やや好き」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均をやや下回り、女子は下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はほぼ同程度であるが女子はやや下回っている。

○運動やスポーツをすることに興味や関心が「ある」「ややある」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度であるが、女子は下回っている。

○中学校卒業後も自主的に運動したいと「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均とほぼ同程度であるが、女子はやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はやや上回っているが、女子はやや下回っている。

○保健体育の授業以外での1週間の総運動時間は男子は全国平均を83.7時間上回り、女子は30.4時間下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、平均値で男子は28.9時間の増となっているが、女子は40.3時間の減となっている。

○「運動することが好き」「運動に興味・関心がある」「中学校卒業後も自主的に運動したい」の回答において、男子は肯定的な回答と受け止められるが、女子は全国平均を下回る回答となっている。本市前年度調査結果から見てもほぼ同様なことと言え、1週間の運動時間も減少している。学校は家庭とも連携し運動への意欲付けや運動機会を積極的に設定するとともに、体育授業や学校行事などを含めた学校教育活動を通じて、体を動かすことの楽しさを強く実感させていくことが大切である。

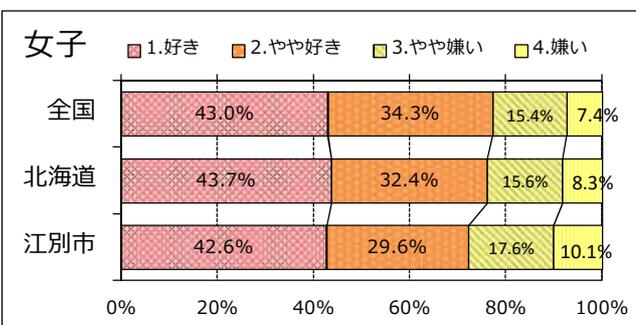
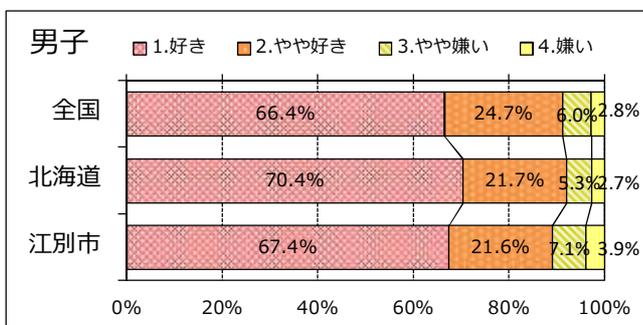
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。

全国の平均値、質問の割合に対し、

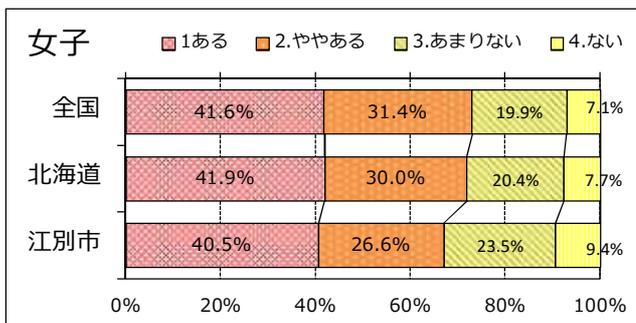
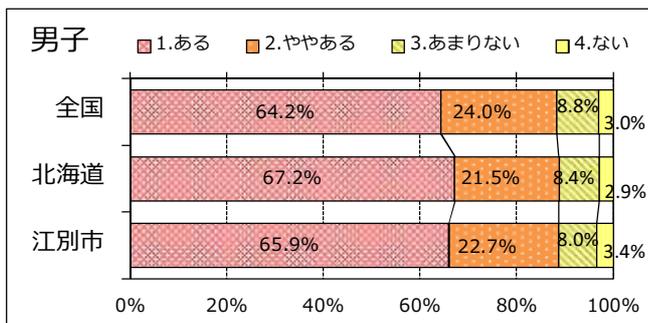
① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度

④ -1ポイント超～-5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

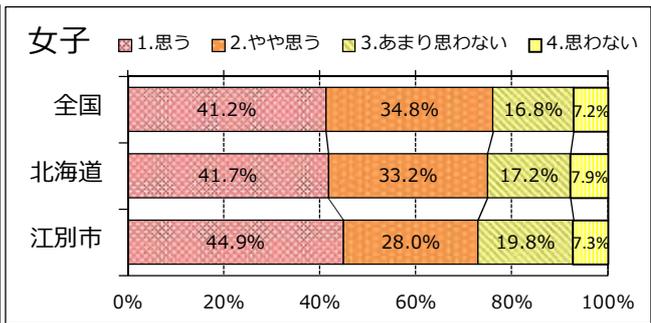
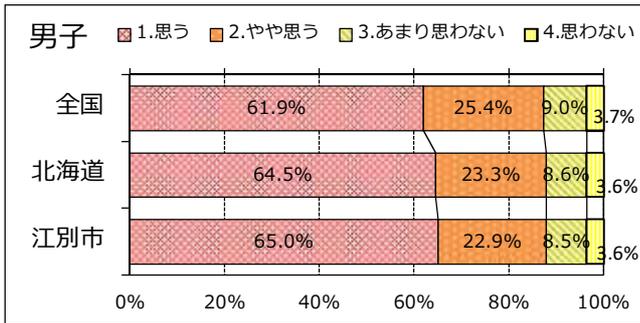
運動が好きですか



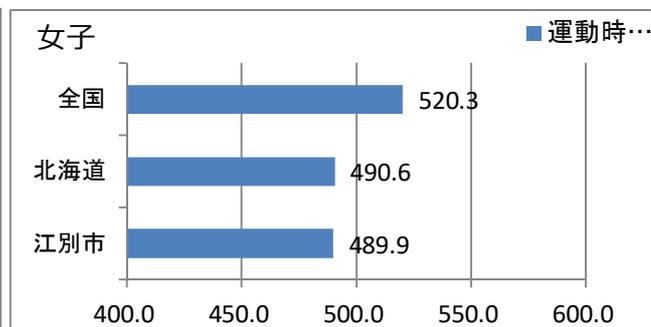
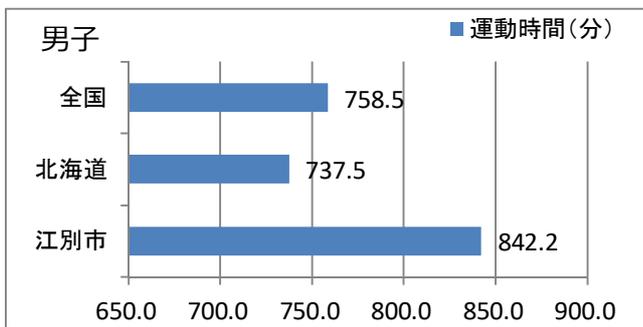
運動やスポーツをすることに興味・関心がありますか



中学校卒業後も自主的に運動したいですか



保健体育の授業以外の1週間の総運動時間(北海道の記録には札幌市は含まれない)



<保健体育の授業>

○保健体育の授業が「楽しい」・「やや楽しい」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均をやや下回り、女子は下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子は-3.4ポイントやや下回っており、女子は-8.5ポイント下回っている。

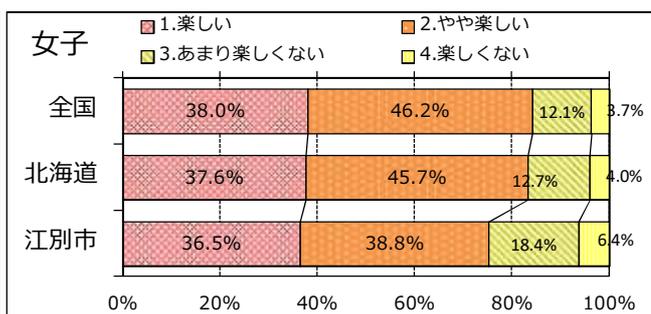
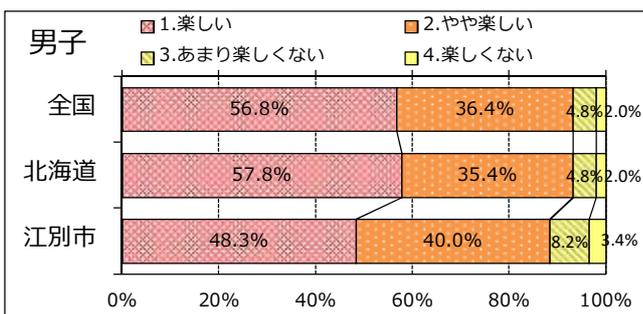
○体育の授業について、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で『できたり、わかったり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国平均をやや下回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はほぼ同程度であるが女子はやや下回っている。

○体育の授業について、ICTを使った学習で『できたり、わかたり』することが「よくある」「ときどきある」と回答した生徒の割合は、男子は全国平均をやや上回り、女子は上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男女ともやや下回っている。

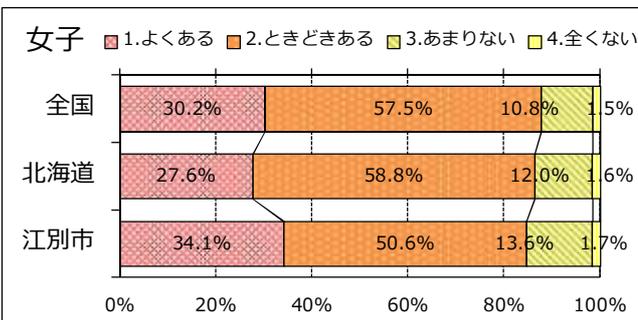
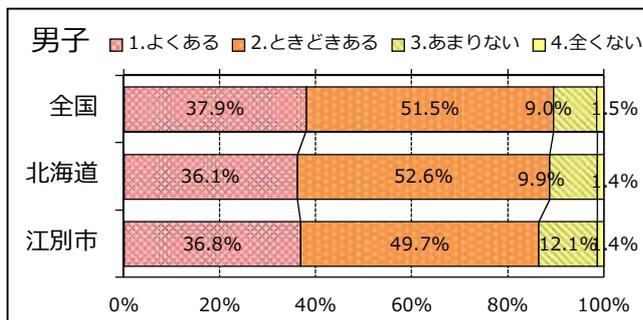
○体力・運動能力向上の目標を立てているかについて、男子は全国平均とほぼ同程度であるが、女子はやや上回っている。本市昨年度の調査結果と比較して、男子はやや上回り、女子は上回っている。

○授業では今後も目的やねらい、振り返りを明確にした授業を行い、授業改善に向けて継続して取り組んでいくことが必要である。

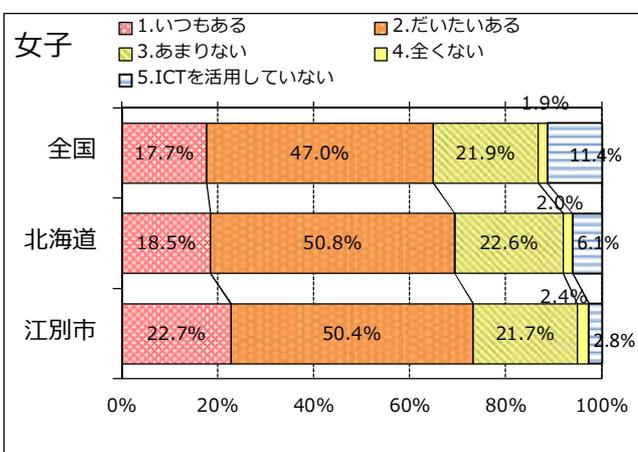
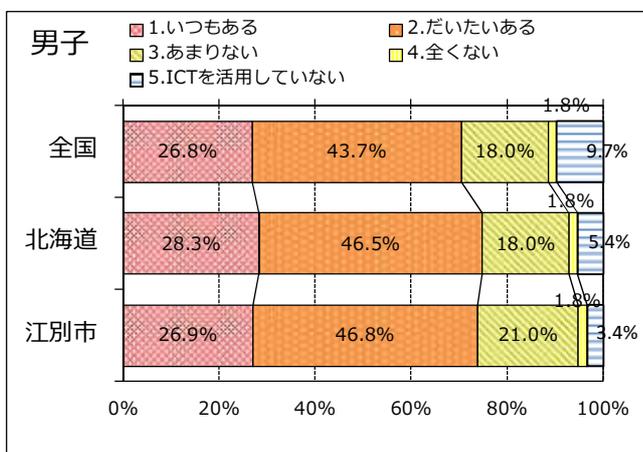
保健体育の授業は楽しいですか



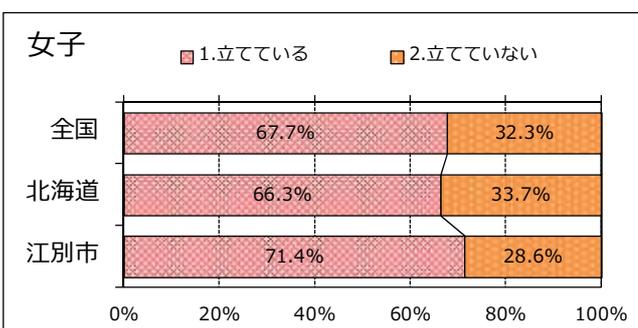
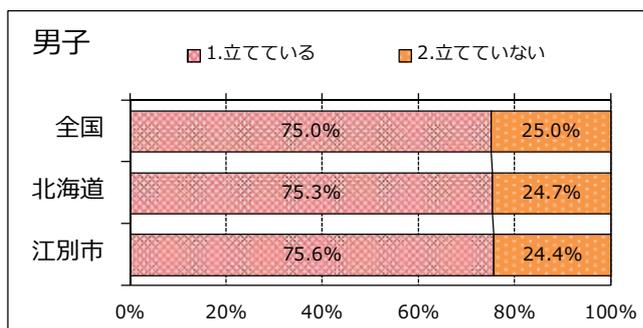
保健体育の授業で、友達と助け合ったり教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」すること



保健体育の授業で、ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること



体力・運動能力向上の目標を立てているか



V 学校質問紙調査の結果

<体力の向上に関して>

○児童の体力・運動能力の向上のために、教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で必要な教育内容を組織的に配列することや調査やデータ等に基づきPDCAサイクルを確立することについて全小中学校で取り組む。

○児童・生徒が主体的に体力向上に取り組むための取り組みとして、体育・保健体育の授業改善を進める(小中とも100%)とともに、地域・家庭に働きかけながら体育授業以外でも取り組みをすすめる。

○体育・保健体育の授業では体を動かすことの楽しさを実感させる(小中とも100%)ことを一番に、運動量を確保しながら仲間と協力して課題解決させることなどを大切にしている。

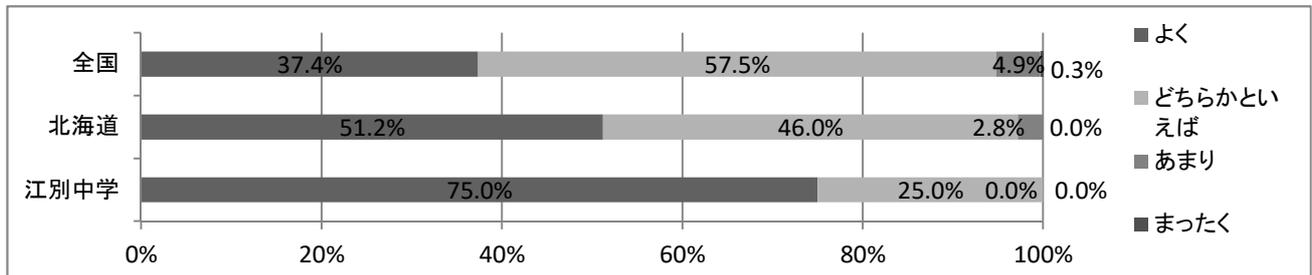
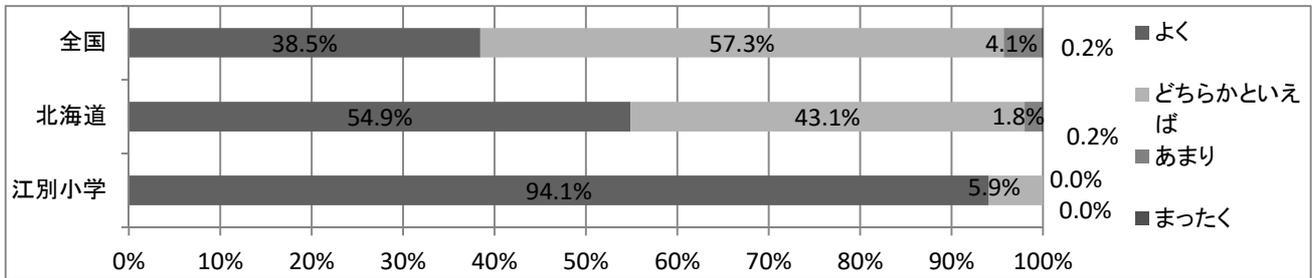
○授業では目標を提示し、振り返りを適切に実施するなどさらなる授業改善に向けて継続して取り組む。

○担任・教科担任だけの取組ではなく、学校全体の取組となるよう環境の整備をすすめなければならない。

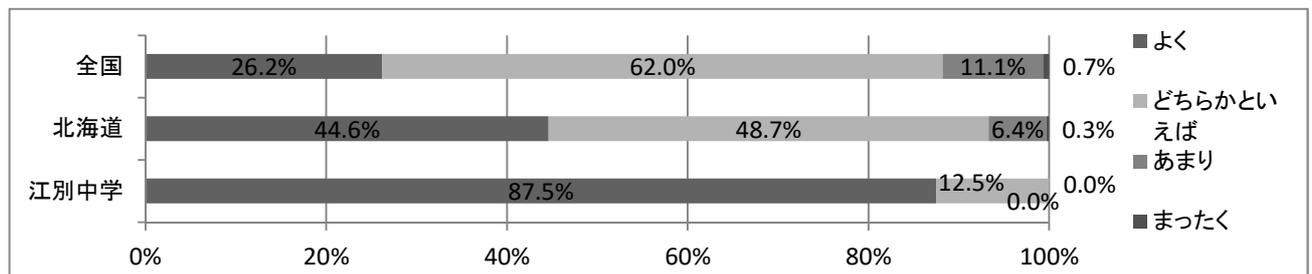
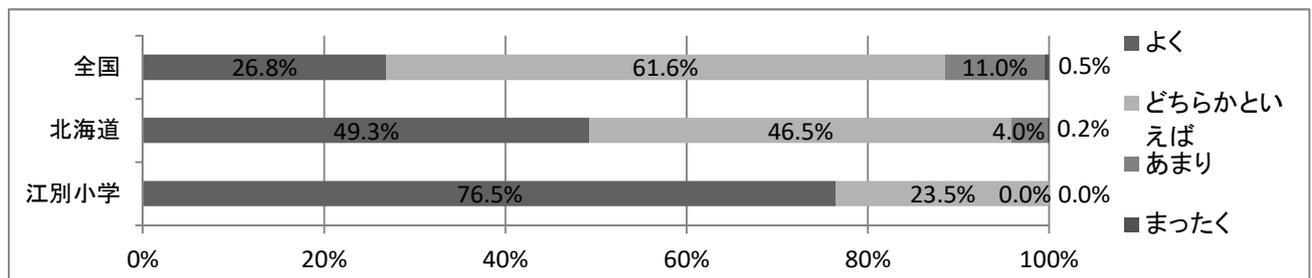
※ 全国の平均値、質問結果の本市との差を、次の通り表記しています。全国の平均値、質問の割合に対し

① 5ポイントを超えて高い…上回っている ② 1ポイント超～5ポイント…やや上回っている ③ +1ポイント以内…ほぼ同程度 ④ -1ポイント超～-5ポイント…やや下回っている ⑤ 5ポイントを超えて低い…下回っている

【新規】児童の体力・運動能力の向上のために、教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で必要な教育内容を組織的に配列すること

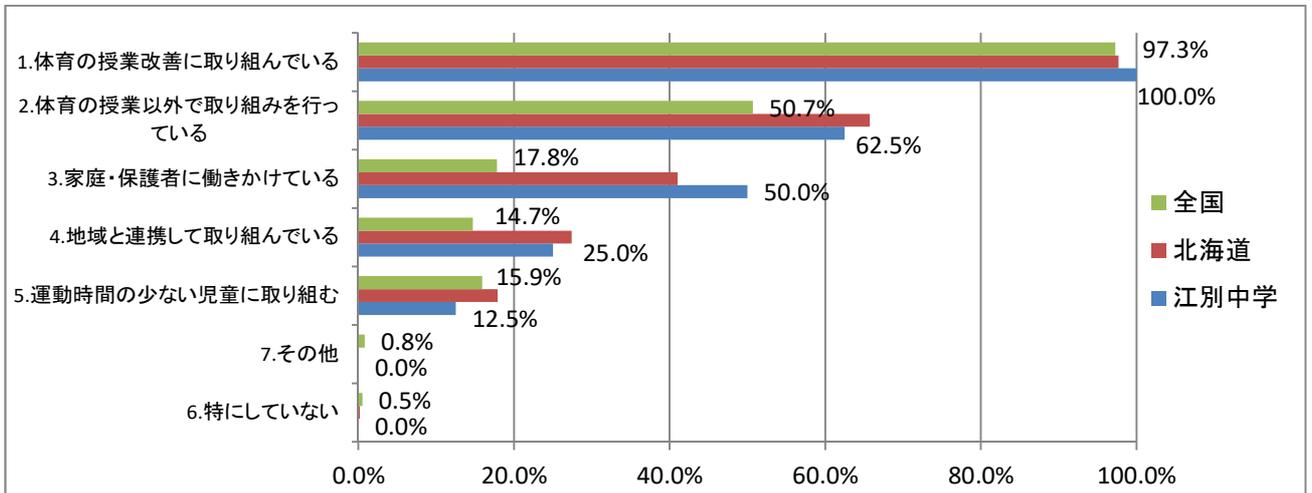
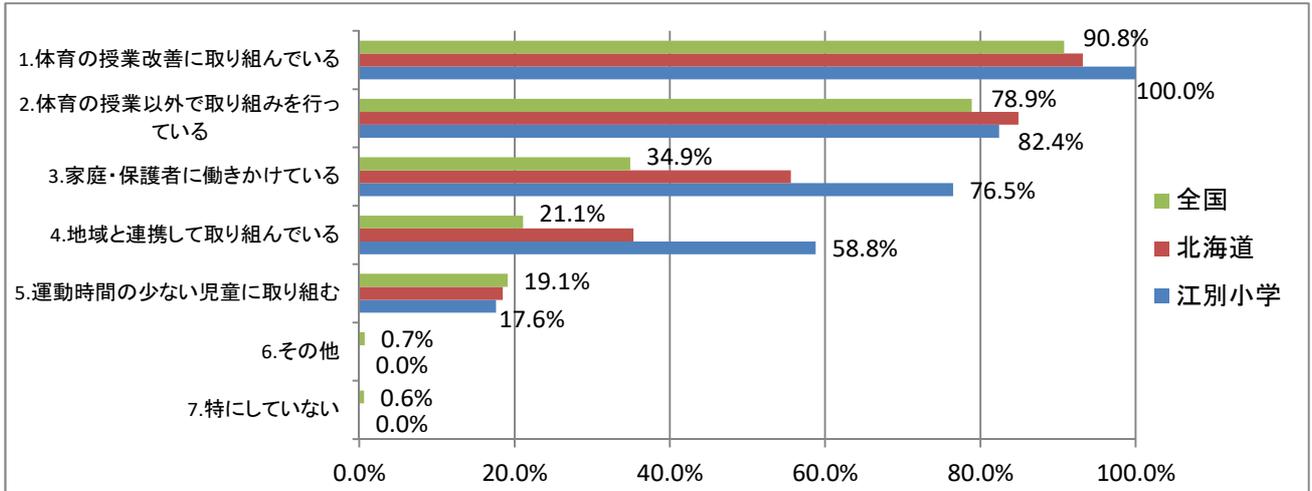


【新規】児童の体力・運動能力の向上のために、調査やデータ等に基づき、PDCAサイクルを確立すること

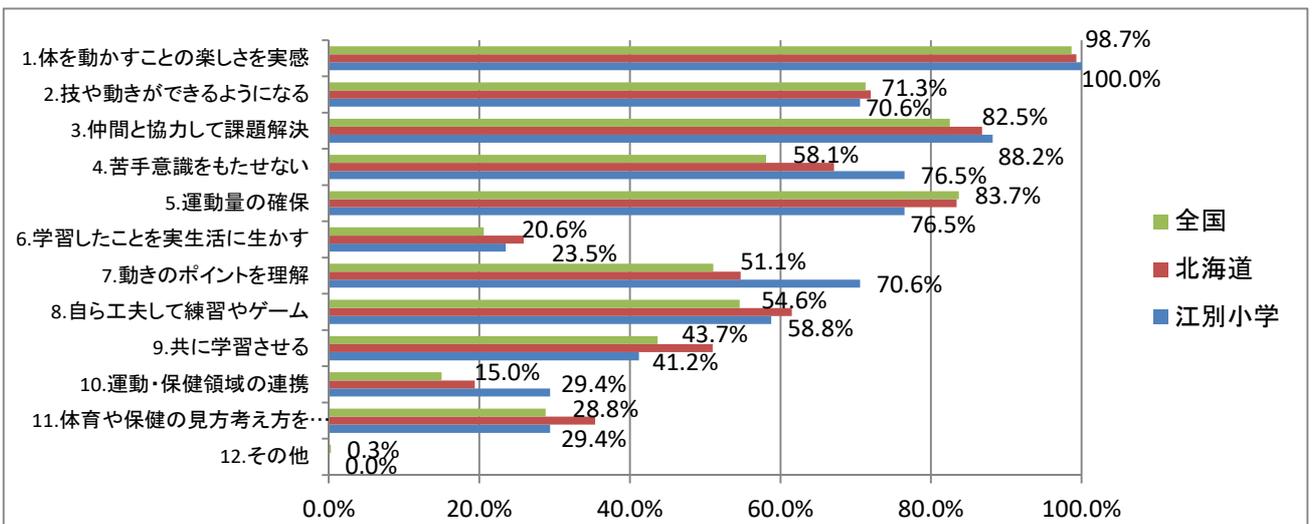


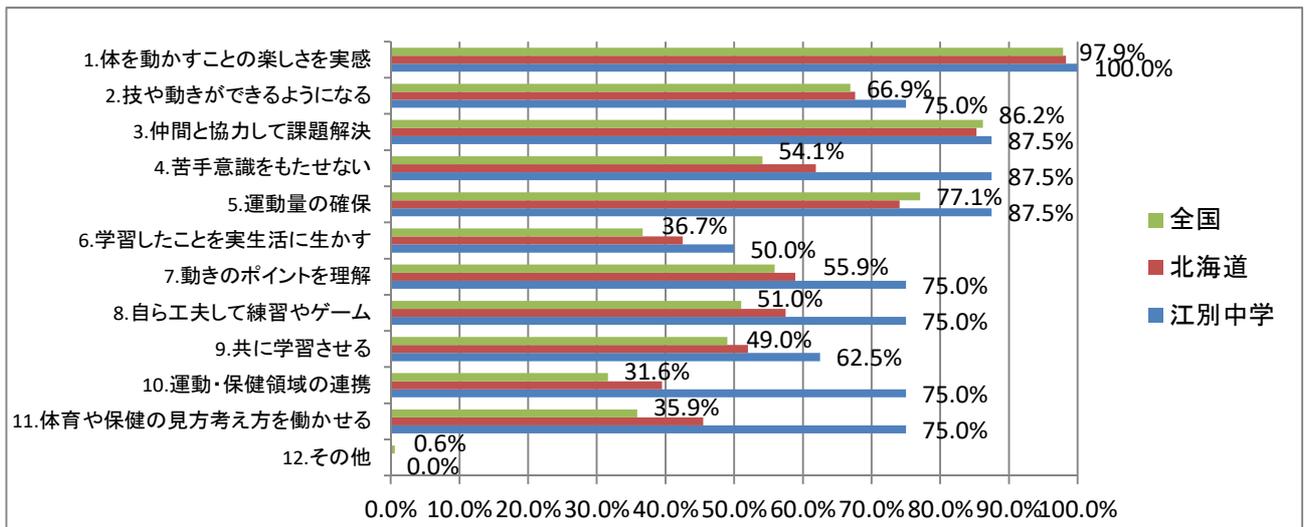
児童・生徒が主体的に体力向上に取り組むための取り組み

※ 以下の横棒グラフでは「北海道」の記録を表示していない。

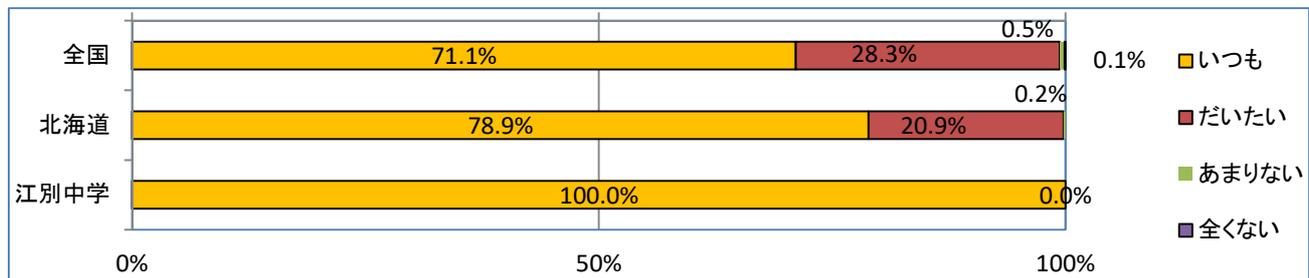
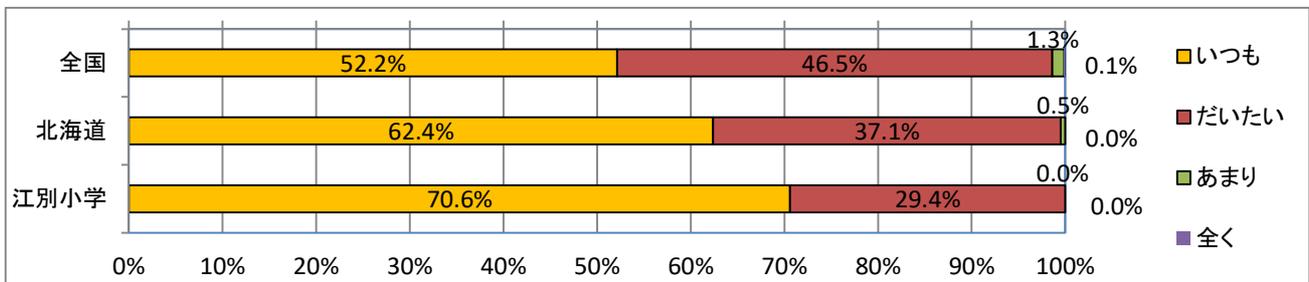


体育・保健体育の授業で大切にしていること

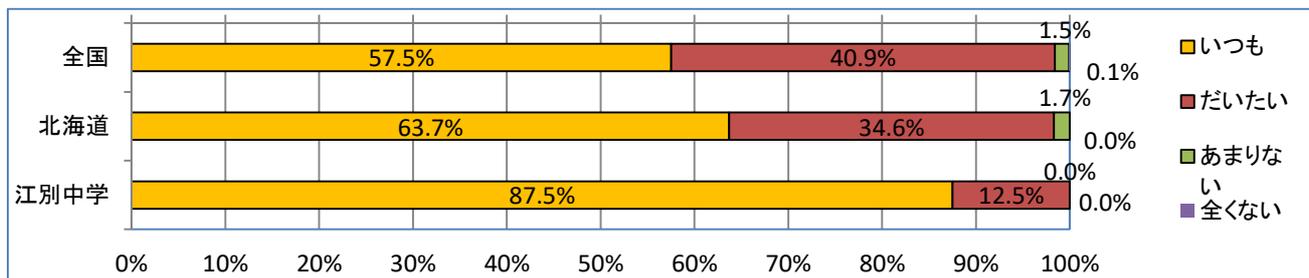
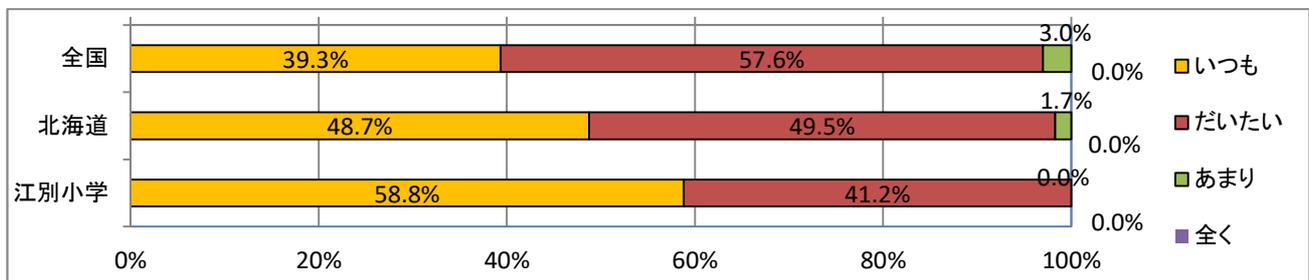




授業の目標を児童生徒に示す活動を取り入れていますか



授業を振り返る活動を取り入れていますか



<家庭との連携、啓発に関して>

○体力向上に係る「家庭との連携」について、「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」「生活習慣改善のための資料を配布している」「運動やスポーツを実施することを啓発するための資料を配布する」などを行っているが、引き続き、学校から家庭への情報発信を行い、より効果的な取り組みをめざしていくことが必要である。

○また、体力の向上のためには食育とともに生活習慣の改善も大切である。学校は家庭と連携し、体力づくりの基盤としての体づくり(食育を含む)と生活習慣の改善を両輪としてすすめていかなければならない。

○児童・生徒の成長に合わせた効果的な取組を学校・家庭・地域が一体となっていく必要がある。小中一貫教育をふまえ、めざす子ども像を家庭・地域と共有し、学校からの情報発信を継続していかなければならない。

運動やスポーツ、児童・生徒の体力についての家庭との連携(複数回答可)

